

# 12 放射線治療科

## 国立がん研究センター東病院でも放射線科専門医が取れる！！

国立がん研究センター東病院は総合修練機関です。下記基幹病院と連携を取っており、下記プログラムに参加することにより、当院で研修をしながら専門医の取得ができます。  
 連携プログラム：東京医科歯科大学、千葉大学、群馬大学、筑波大学、横浜市立大学、聖マリアンナ医科大学、神戸大学



### 豊富な臨床経験

年間新規治療件数は 1800 件以上と国内屈指の件数であり、様々な疾患の緩和治療から根治的治療、強度変調放射線治療や定位放射線治療、陽子線治療まで幅広い治療経験を得ることが可能です。平成31年度からは低線量率および高線量率組織内照射も開始します。他科へのローテーションや中央病院での短期研修等も可能ですので、放射線腫瘍医として必要な幅広い技能と知識を習得する環境が整っています。各領域の他科とのカンファレンスも充実しており、各臓器のがんに関する数多くの臨床試験にも参加していますので、臨床試験の考え方や臨床試験を通じた標準治療の知識も習得することが可能です。さらに、当科では様々な国内外からの研修を受け入れており、近年ではヨーロッパ、インド、台湾等からの留学生も研修に訪れ、国際交流も盛んとなっております、英語も自然と身につく環境です。

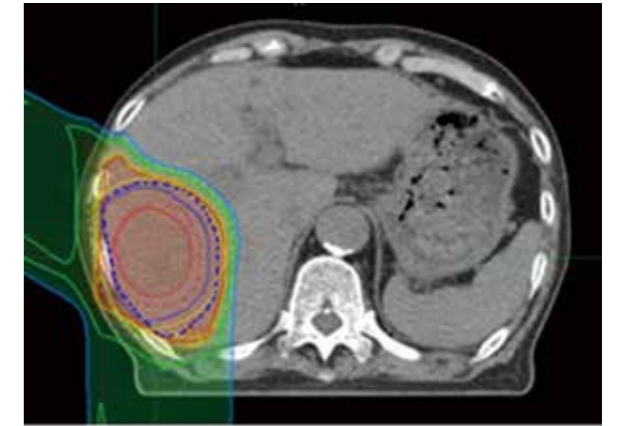
### 充実した教育体制

日本の放射線治療をリードする様々な分野の専門家から、直接教えてもらうことができます。日常臨床を通じて教育講演を1対1で受けられるチャンスです。  
 放射線治療科のレジデントは仕事の負担は決して多くなく、充実した研修生活を送っております。研修や研究に専念することが出来ます。また、スタッフ全員でサポートいたしますので、安心して休暇もとることが出来ます。

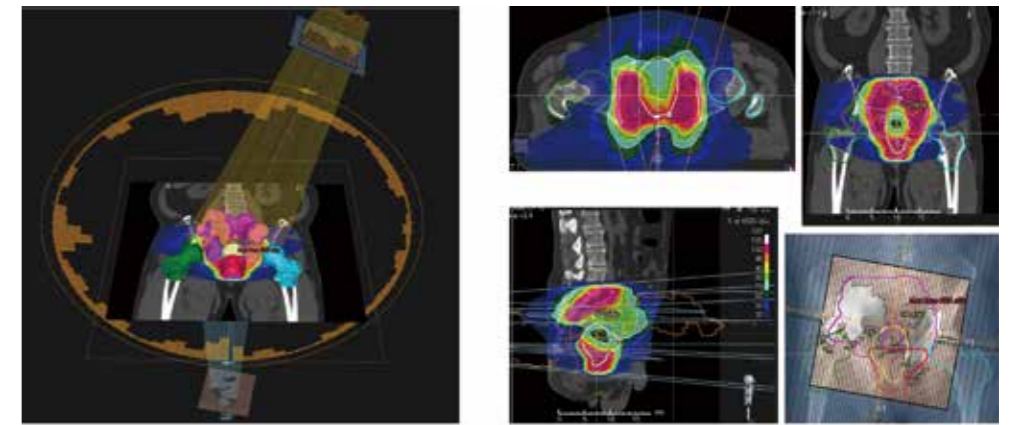


### 話題の治療、陽子線治療

当院では、通常の放射線治療と陽子線治療をどちらも有する数少ない施設です。陽子線治療は年間 200 件以上の治療を行っており、幅広い疾患の治療を経験することが出来ます。2016 年 4 月より小児がん、2018 年 4 月より前立腺がん、頭頸部悪性腫瘍、骨軟部腫瘍も保険適応となり、ますます陽子線の需要が高まっております。また、2015年10月より、前立腺癌がんにおいて、複雑な形状の腫瘍に対応できる「陽子線ラインスキヤニング照射法」による治療を開始しております。更に、2018 年には強度変調陽子線治療の Pilot study が終了しており、今後臨床試験の開始を予定していることから、臨床試験について学びながら、世界最先端の治療技術を経験することができます。研究テーマも豊富、研修しながら学位が取れる臨床に従事したまま研究活動を行い、連携大学院制度で学位を取得することも可能です。放射線治療科では、臨床研究や基礎研究、トランスレーショナルリサーチ研究を盛んに行っており、様々な分野と協力して研究を行う事ができます。研修手技の習得も可能です。



肝細胞がんに対する陽子線治療



前立腺がんに対する骨盤領域を含めた強度変調放射線治療

### 研修希望者のニーズにマッチする、様々な研修コース

研修コースについては、次項をご参照ください。



研修に関するお問い合わせ先

国立がん研究センター 東病院  
放射線治療科

科長：秋元 哲夫  
メールアドレス：  
takimoto@east.ncc.go.jp

医長：中村 直樹  
メールアドレス：  
naoknaka@east.ncc.go.jp

東病院放射線治療科レジデントプログラム HP  
[https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/radiation\\_oncology/resident/](https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/radiation_oncology/resident/)



Facebook 東病院 教育・研修情報  
<https://ja-jp.facebook.com/nceasteducation/>

